

広報

急流と鍾乳洞の里「球磨村」
Kuma Village Public Relations

くまむら

6

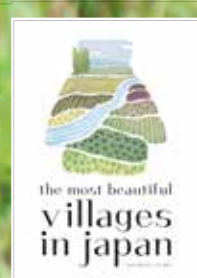
2018.6 No.307

フォトレポート

小学校運動会

【防災特集】

人と地域がつくりあげる 防災力



球磨村は
「日本で最も美しい村」連合
に加盟しています



近年、台風や豪雨、地震などの自然災害による被害は後を絶たず、全国的に深刻な問題となっています。地球温暖化などが原因で起こる「異常気象」と言う言葉を良く耳にするようになってきました。

自然災害はいつ、どこで、どのように起きるか分かりません。この自然の猛威に私たちはどのような対応していけば良いのでしょうか。今私たちができることを私たち自身が考え、それを行動に移していかなければならない時が来ています。

人と地域がつくりあげる 防災力



【防災特集】

* Monthly Pick Up Topics *

球泉洞が「恋人の聖地」に認定 恋人の聖地新選定地銘板授与式



授賞式で銘板を手にする高永課長と選定委員の桂由美さん

恋人の聖地プロジェクト(NPO法人地域活性化支援センター主催)で、球泉洞内にあるハート形の石が恋人の聖地として認定され、5月29日に東京都で開催された授与式で、村企画振興課の高永幸夫課長に銘板が授与されました。

恋人の聖地は、プロポーズにふさわしいロマンティックなスポットとして、全国の観光施設や地域などから選定され、現在まで約140箇所(県内では3箇所)が認定されています。

ハート形の石は、踏むと幸せになると言われています。皆さんもカップルで探しに出かけてみませんか。

今月の表紙



初夏を彩る花「紫陽花」。6月に入り、村内各地で美しく咲き誇りました。紫や青、白、ピンクなど、色とりどりの紫陽花たちが、雨が多くじめじめとしたこの時期に、気分を晴れやかにしてくれます。

広報 くまむら

急流と鍾乳洞の里「球磨村」

球磨村は熊本県の南部にあります。九州最大の鍾乳洞「球泉洞」や村の中央を球磨川が流れ、眼下に雄大なパノラマが広がる自然豊かな遊びの宝庫です。穏やかに、緩やかに、人と自然が調和した悠久のロマンが、今も受け継がれています。

6月号の目次 - CONTENTS -

【防災特集】人と地域がつくりあげる防災力	03-07
平成30年度小学校運動会	08-09
Kuma Village Topics	10-13
情報の窓口	14-15
変えられる未来もあるプロジェクト	16
地域おこし協力隊通信／熱中症を予防しましょう	17
くまむらのおいしい給食レシピ／包括だより	18
陽だまり	19
社協だより	20
球磨村青年団／文芸の広場／戸籍の窓	21
球磨村公民館図書室／7月の乳幼児健診・年金相談会・休日在宅当番医	22
行事予定／編集後記／球磨村の隠れスポットを探そう	23
2018くまむら健康づくり標語コンテスト作品募集	24

大地震をきかっけに生まれた「共助」の力

平成7年に起きた「阪神・淡路大震災」。淡路島北部沖の明石海峡を震源として発生し、神戸市の一部の地域では、震度7の大きな揺れを観測しました。この地震は、死者・行方不明者6千人以上、住家全・半壊24万棟以上を出すなど、甚大な被害をもたらしました。

地震の際、家屋の倒壊などによる生き埋めや閉じ込められた人の内、消防などの公的機関の救助「公助」によるものはわずか2割で、その多くは自力または家族や隣人など地域住民によって救出されました。

被災地域では、発災直後からいろいろなところで、火災などが発生し、全ての災害現場に消防などが駆けつけることは、困難です。災害の発災直後の公的機関による被災者支援などの緊急対応には、限界があります。このような状況の中で、地域住民一人一人が「自分たちの地域は自分で

守る」という「共助」の意識と取り組みが極めて重要です。

そこで機能を発揮するのが「自主防災組織」です。多くの犠牲者と被害をもたらした阪神・淡路大震災を機に全国でこの自主防災組織の結成が進んできました。実際に、近年発生した東日本大震災や熊本地震においても、地震発生直後、高齢者の安否確認や地域住民の避難誘導、避難所の運営など自主的に活動を行った地域が多くありました。



阪神・淡路大震災での家屋被害
出展：（一財）消防防災科学センター

自分たちに何ができるのかを話し合う



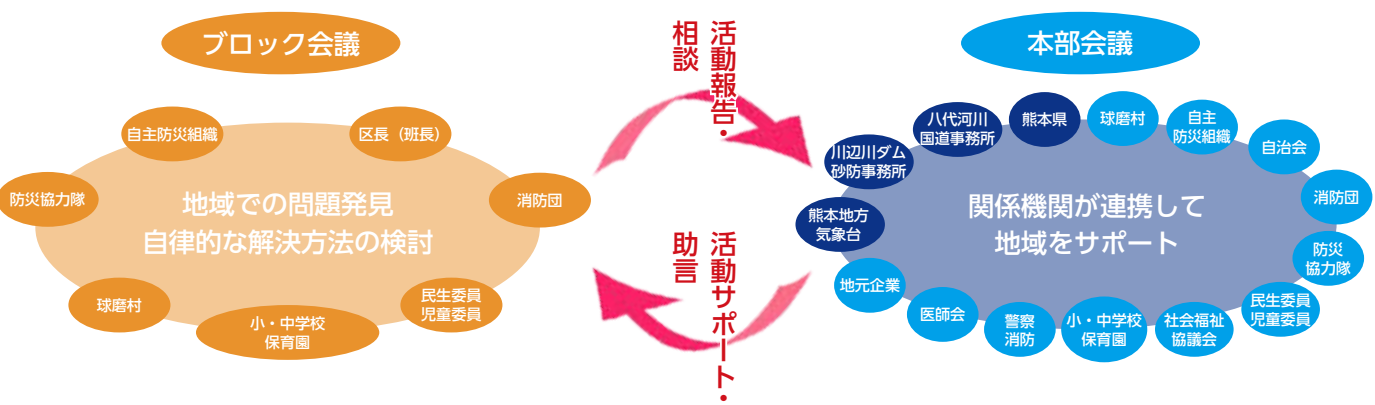
今までの活動の振り返りや今後の活動目標を書き込んでいく参加者

災害に強い地域づくりのために、個人や地域の防災意識・防災力を高める取り組みを考え、それを実施していくことを目的に、村では、村民防災会議を平成27年12月に立ち上げました。この会議は、本部会議とブロック会議の2つに分かれ、本部会議では、村全体に関わる防災対策を、ブロック会議では、各地域に関わる防災対策を推進していきます。

防災ブロック会議の目標

- 地域で起こり得る災害とその危険性を知る
- 地域の課題を出し、対応策と解決策を考える
 - ・地域で解決できるのか、何を行政にお願いするのか
 - ・地域特性を踏まえた避難や支援方法を考える
- 対応策・解決策を実践する
 - ・避難訓練や防災教育などを行う

一人一人が考える

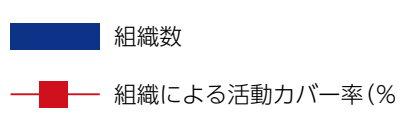


これまでの村民防災会議の流れ

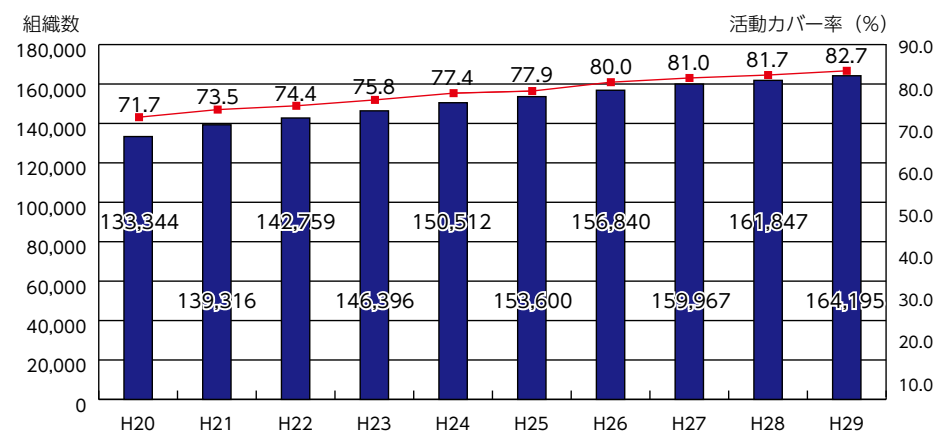
開催年月	本部会議	ブロック会議	内 容
平成 27 年 12 月	第 1 回会議（発足式）		村民防災会議の趣旨説明、実施概要の説明
平成 28 年 8 月～9 月		第 1 回会議	地域の危険の把握、悩み・不安の共有
平成 28 年 12 月	第 2 回会議		立場の違う機関ごとの取り組みの把握、村全体の課題の共有
平成 29 年 2 月		第 2 回会議	災害時の心配ごととの解決・役割分担を考える 次回の会議までに地区で行うことを考える
平成 29 年 5 月		第 3 回会議	必要な防災行動とそれを実践に移すための具体策を考える
平成 29 年 10 月		第 4 回会議	共助の担い手について考える（自分の班でできること・支援が必要なこと）
平成 29 年 12 月	第 3 回会議		これまでの村民防災会議の経緯、ブロック会議の成果
平成 30 年 5 月		第5回会議	これまでの地域活動の振り返り、ことし活動することを決める

今必要とされる地域の防災力

自主防災組織の推移



※活動カバレッジ率とは、全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている地域の世帯数の割合のことです。



※消防白書（各年4月1日現在の消防防災・震災対策現況調査により作成）参照

自主防災組織とは、日頃から災害に備えたさまざまな取り組み、災害時には、災害による被害を最小限に抑え、いともたけの活動を行う組織です。全国的に災害が多発している今日において、自主防災組織の活性化は、急務な課題となっているのが現状です。

平成29年4月1日現在で、全国1741市町村の内、1679市町村で、16万4195の自主防災組織が設置され、活動カバレッジ率は、82.7%となっています。平成20年からの10年間で、自主防災組織数・カバレッジ率共に、約1.2倍の伸びをみせていることから、地域住民の自主防災意識が徐々に高まってきたことがわかります。

一方で、組織結成率の地域格差は大きく、活動内容にも課題が残ります。自主防災活動の運営・活動は、高齢化や昼間の活動要員の不足、リーダー不足、会議や訓練に使う活動拠点不足、活動のマンネリ化などが指摘されています。

これらの課題を解決するには、住民の更なる参加意識の向上や活動に参加しやすくなるような工夫が必要です。

支え合いの
地域を目指して



田代班長
田代 正司 さん

村の防災ブロック会議をきっかけに班内でできることがないかをみんなで考えました。田代班では、自治会をつくって、まず自治会の役員で話し合い、班の皆さんへ諮りました。班の皆さんからも意見を出してもらい、防災マップと災害時の連絡網を作ることになりました。防災マップは、役場の行政区担当職員にも手伝ってもらいながら、班内の危険箇所を中心に、マップ上に落としました。また、田代班は一人暮らしが多いので、災害時にすぐに連絡がとれるように緊急連絡網をつくり、マップと併せて、全家庭へ配布しています。それ以外にもヘルメットや懐中電灯、発電機などを班で購入し、公民館に備え付けています。班内の草払いなどの清掃作業も定

期的に行い、班全体の見通しを良くし、防災につなげるための取り組みも行っています。

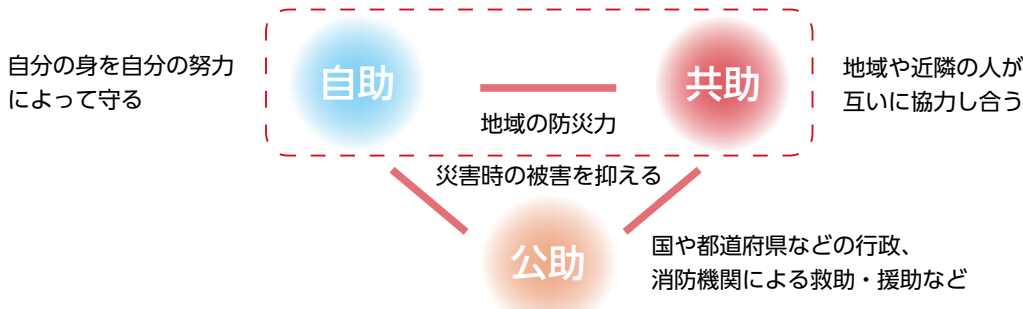
田代班内を流れる庄本川は、近くで雨が降っていても上流側で大雨が降っていれば、急に増水してくる可能性があります。早期の避難が必要ですが、高齢者がすぐに自力で避難するのは困難です。そのような時こそ若者が高齢者を支え、避難させるなど、助け合うことが必要だと思います。普段からの声掛けなど、積極的に言い、連携力を強めていきたいと思っています。

村だけに頼らず「自分たちでできることは自分たちで行う」ことが、今後、必要なことではないかと思っています。

「田代班防災マップ」は、水路や裏山、谷、家屋に隣接した河川など、住民でしかわからない班内の危険箇所を現地の写真などを用い、マップに上にわかりやすく示してあります。また「自分の命は自分で守る!」と大きく掲げ、日頃から「気象情報に気を付ける」「避難場所や避難経路の確認」、災害が起こる前に「隣家に声掛けしながら早めの自主避難を行う」「校区内に防災無線で呼び掛け」などが書いてあり、住民の普段からの意識づけにもなっています。



助け合いが生み出す 力



地域**の強い絆へ**

私たちが暮らす村は、自然が豊かで、その自然は私たちにさまざまな恩恵を与えてくれています。しかし、時として、その自然は牙を剥き、大きな災害を生み出すこともあります。どんなに科学が進歩しても、自然に私たち人間はかないません。しかし、私たちは、災害は防げなくても、対応する力を持っているはず。私たちが一人一人の力は、限られています。共に助け合うことによって大きな力となります。

自分自身が、自分の身を守ろうという意識を持つ。一人ではできないことは、地域住民同士で助け合う。地域でできないことは、行政機関が補助する。この助け合いの形が「自助」「共助」「公助」のネットワークとなり、強い力を生み出します。

現在、村では、村民防災会議などを通じて、このネットワークが少しずつ広がっています。自分たちでできる防災対策を地域みんなで考えることで、防災力の向上だけでなく、地域住民同士の強い絆へとつながっていきます。

防災ブロック会議で出された各ブロックで本年に実施予定の主な活動目標

	第1ブロック	第2ブロック	第3ブロック	第4ブロック	第5ブロック
A	・危険箇所の確認・点検 ・要支援者の確認 ・地区の避難計画書・防災マップの作成 など	・班での話し合い ・発電機の確保 ・飲料水・食料の備蓄 ・危険箇所の把握 など	・危険箇所マップの作成 ・連絡網の作成・更新 ・防災訓練の実施 ・防災無線の点検 など	・要支援者の確認 ・ハザードマップの見直し ・防災無線の操作確認 ・備蓄品の確認 など	・食料や備蓄品の確認 ・危険箇所の確認 ・防災無線の操作確認 ・班での話し合い など
B	・防災無線の操作確認 ・防災学習会の開催など	・防災無線の操作確認 ・避難経路の確認 ・応急手当の方法確認 ・避難訓練の実施 など	・防災無線の操作確認 ・危険箇所の把握 ・連絡網の確立 ・AEDの操作確認 など	・避難訓練の実施 ・地区防災計画の見直し ・防災学習会の開催 ・要支援者の確認 など	・危険箇所の確認 ・防災無線の操作確認 ・防災学習会の開催 ・班での話し合い など
C	・石垣やU字溝の確認 ・避難したことがわかるようにタオルを家にかけておく など		・食料や備蓄品の確認 ・防災無線の操作確認 ・班での防災計画の検討 ・班での話し合い など	・溝の水位調整の確認 ・危険箇所の確認 ・要支援者の把握・避難方法の確認 など	・班での意見交換 ・備蓄品の確認 ・危険箇所の確認 ・要支援者の把握 など
D	・避難場所・経路の確認 ・一人暮らしの確認 ・班内防災マップの作成 ・防災学習会開催 など		・災害に対する勉強会 ・砂防ダムの状況把握 ・裏山の点検 ・防災訓練の実施 など		
E			・食料や備蓄品の確認 ・防災無線の操作確認 ・一人暮らしの状況確認 ・消火栓の操作確認など		

- 第1ブロック A：内布・山口・地下・今村 B：峯・島田 C：水篠・糸原・立野・境目・大槻 D：小川・舟戸・茶屋・椎屋
- 第2ブロック A：中国・田頭・浦野・板崎・馬場・岡 B：高沢・蔵谷・沢見・横井・坂口
- 第3ブロック A：友尻・宮園・橋詰 B：野々原・中屋・吐合・中津・日隠・黄檗 C：黒白・岳本・中渡 D：柳詰・松舟・田代 E：淋・向淋・告・松本・小谷・大坂間・池下
- 第4ブロック A：鵜口・千津・大久保・大無田 B：那良口・那良・松谷 C：毎床・茂田・俣口・遠原
- 第5ブロック A：飯瀬・伊高瀬・上郡・多武除・楮木・川島 B：大瀬・部・和田・堤岩戸・神瀬一区・神瀬二区 C：木屋角・上原・松野・四蔵・永椎・日当・大岩

まずは、できることから 始める

本年度から初めてブロック長としてブロック会議に参加しました。まず、会議に参加してみて、参加者一人一人の防災に対する意識の高さを感じました。みんなで意見を出し合うことは、自分の考えを見直す良いきっかけにもなると思います。

第2ブロック地域は、大雨が降ると、中園川の増水により道路冠水や土砂崩れが発生する危険性はかなり高いところです。数年前も大雨によって道路の決壊や大規模な土砂崩れが発生しています。道路が決壊すれば孤立集落が出てきます。各地域での危険箇所の把握や周知は、今後の取り組みとして必要だと思います。

先日、高沢班では、区長・班長、消防団、民生委員などが参加し、防災に

ついでの会議を行いました。そこでは、村の防災無線の使い方の講習会の開催や、一人暮らし家庭への対応をどうするかなどの話が自発的に出ました。こういった話が出るのも住民の防災意識の変化の表れだと思います。

私はブロック長という立場ですが、責任者が全てをまとめるのではなくて、一人一人の意識が大事だと思います。地域によって、それぞれできる防災対策とできない対策があると思いますが、自分たちの住む地域が、ずっと安心して暮らしていける地域であるように、会議で話し合った防災対策は、できることから、できるだけ実施へ向け取り組んでいければと思います。

一人一人の
防災意識が大事



第2ブロック長
高沢 秀人さん

一勝地小

1・8 お互い「優勝」の二文字を掲げての力強い応援合戦 2 親子で、粉と笑顔に溢れた顔でゴールを目指します 3 いっぱい入れ！赤白玉入れ 4 こがね保育園と神瀬保育園によるかわいらしいダンス 5 みんながダンシングヒーロー＆ヒロインです 6 息の揃った KUMAKOI 六調子 7 バラエティに富んだ衣装を着て会場を沸かせた技巧走 9 風船が割れるくらいの愛情で抱きしめあう親子 10 それぞれの威信をかけた地区対抗リレー 11 「Jupiter」の音楽に合わせて息の揃った組体操

渡小

1・8 息の揃った動きを披露した応援合戦 2 渡保育園によるかわいらしい花笠音頭 3 5年生からプレゼントを受け取る来年から1年生になる園児 4 最後まであきらめない走りを見せた徒競走 5 見事に完成した3段ピラミッド 6 親子の絆を感じます 7 チームワークが鍵を握る六方綱引き 9 ボールを落とさないように慎重に運びます 10 地区対抗二人三脚リレーのはずが... 4人？ 11 元気いっぱい OH! 綱引き

平成 30 年度

小学校運動会

5月20日、澄み渡った青空のもと、渡小と一勝地小の運動会が開催されました。

それぞれの大会スローガンを胸に、児童たちは、全力で各競技に臨みました。応援テントからは、保護者や地域の皆さんから熱い応援が送られ、地域と学校の心が一つとなった素晴らしい運動会となりました。



渡小
最後まで 心を一つに
みんなで優勝旗を つかみとれ



一勝地小
こころを一つに パワーを出しあって
笑顔で大成功をおさめよう



いつかくる大災害に備えて

球磨村教職員研修会



近年の災害の傾向や特徴を説明する中渡防災管理官

球磨村教職員研修会が6月1日、球磨村コミュニティセンター清流館で開催され、村内小中学校の教職員52人が参加しました。

研修会では、中渡徹^{なかつとく}防災管理官を講師に「いつかくる大災害に備えて」と題した講話がありました。講話では、近年の災害発生の傾向や特徴などの他、自身が勤務していた陸上自衛隊での行方不明者捜索の体験談がありました。

参加者からは「災害に備えて村でどのような取り組みをしているのか」「避難するタイミングは」などの質問があり、災害に対する意識を高めました。

村の自然と人々の暮らしを体感

球磨村集落ツアー



川島集落で地域住民から話を聞く参加者

球磨村集落ツアー（くまむら地域再生協議会主催）が6月2日、神瀬地域で行われ、県内の大学生の他、村内外から約40人が参加しました。今回のツアーは、山間集落を巡ることで、地元住民との交流を図り、村の良さを体感してもらうことを目的に実施されました。

参加者たちは、まず川島集落内を散策した後、大槻分校跡地やカルスト台地を見学。高沢説教所では、地元住民が作った郷土料理を堪能し、最後は沢見展望所を訪れました。

東海大学3年の下川航大^{しもがわこうだい}さんは「大自然や住民同士のつながりが間近で感じられて良かった」と感想を述べました。

暑い夏も自然の日よけで快適に

グリーンカーテン設置

CO₂の削減や夏の節電対策などを目的に、5月30日、熊本県地球温暖化防止活動推進員や県担当者などが、村内7箇所^{ななところ}でグリーンカーテンを設置しました。

設置場所のこがね保育園では、先生たちと一緒に、プランターに土や肥料などを入れ、ゴーヤの苗を植えました。

今後は、苗の成長とともにネットにツルが巻き付き、夏の暑い日差しを和らげる緑のカーテンとなっていく予定です。

推進員の大岩^{おおいわ}玲子^{れいこ}さんは「手軽にできるので、ぜひ試してほしい。少しでも地球温暖化の防止につながればうれしい」と話しました。



グリーンカーテンを設置した地球温暖化防止推進員の皆さん

災害時の職員の即応体制を確認

緊急参集訓練

緊急参集訓練が5月31日、球磨村コミュニティセンター清流館で行われ、役場職員が災害時の即応体制を確認しました。

今回の訓練は、実施日時を公表せずに行われました。午前6時に職員に参集要請がかかると、登庁した職員が順次、清流館内に机・いすやパソコン・電話、管内図などを設置し、約1時間で災害対策本部を立ち上げました。

柳詰村長は「実際の災害時も限られた人数で対応しなければならない。今回の訓練が職員の自覚にもつながったと思う」と講評しました。



災害対策本部会議で行われた各部から参集状況の報告

未来の学校生活を輝かせるために

球磨村小中連携事業開講式



小中連携事業の感想を話す球磨中1年生の3人

球磨村小中連携事業開講式が5月28日、球磨中で行われ、渡小と一勝地小の6年生29人が参加しました。

本事業では、来年度に中学校への入学を控えた6年生が、中学校での学習を体験することで「学習になれる」「友だちになれる」「場所になれる」ことを目的に、英語や音楽、社会などの教科の他、中学生と触れ合う特別活動など、年8回の授業が計画されています。

昨年、事業を体験した球磨中1年生は「楽しく授業をしながら、他校の人たちの名前を覚えることができた。皆さんも仲良く交流してほしい」と話しました。

ネットワークを生かした支援に期待

生活協同組合くまもとと協定を締結



協定を締結した生活協同組合の吉永^{よしなが}章^{あきら}理事長(左)と柳詰村長

球磨村見守り活動及び災害時応急生活物資供給等の協力に関する協定式が5月28日、役場で行われ、村と生活協同組合くまもとが協定を締結しました。

今回の協定により、生活協同組合くまもとの職員が村内の家庭を訪問時、住民の異変を察知した場合の村への通報や、災害時の応急生活物資の供給などが行われます。

柳詰村長は「生活協同組合が持つネットワークを活かした見守り活動や災害支援の協力を感謝したい。今後さらに安心・安全のネットワークが発展することに期待したい」と話しました。

下校時の安全な経路を確認

渡小学校水難時避難訓練

豪雨時を想定した水難時避難訓練が5月16日、渡小で行われ、同校児童89人が参加しました。

今回の訓練には、地域の民生委員や学校支援ボランティアなども参加し、森佳寛^{もりよしひろ}校長から災害から命を守るための講話があった後、各登下校班に分かれ、下校訓練が行われました。下校訓練では、地域の皆さんと児童が一緒になり、安全な経路を確認しながら下校しました。

森校長は「渡地域は山に囲まれ、谷水が流れ出てきたり、道路に水があふれ出てくるなど危険な箇所が多い。安全なコース、安全な歩き方を知ってほしい」と話しました。



学校支援ボランティアと一緒に下校する児童

日頃の連携力をバレーでも発揮

第44回人吉球磨教職員バレーボール大会

教職員同士の交流と親睦を目的に、第44回人吉球磨教職員バレーボール大会が5月26日、多良木小体育館で開催され、村内から一勝地小と渡小が出場しました。

大会は、人吉球磨の小中学校がA～Cの3パートに分かれて、熱戦を展開。Bパートの部(8チーム出場)に出場した両校は、共に予選リンクを2位で通過し、決勝トーナメントに進出しました。その後も共に勝ち進み、決勝戦で対戦。試合は、フルセットまでもつれこむ接戦の末、一勝地小が優勝を勝ち取りました。

日頃の教職員同士の連携を発揮した大会となりました。



ダブル入賞を果たし笑顔の一勝地小と渡小の教職員

牛乳飲んで元気一杯！

父の日に乳を贈ろうキャンペーン



毎年おいしい牛乳をありがとうございます

父の日を前に「父の日に牛乳を贈ろうキャンペーン」で6月11日、球磨酪農農業協同組合女性部の立作直美さん（錦町）、中村真由美さん（錦町）、島津統子さん（人吉市）、の3人が役場を訪問し、柳詰村長に牛乳を贈呈しました。

酪農業界では、6月を牛乳月間とし、牛乳・乳製品の消費拡大のための取り組みを行っています。

父の日の17日には、人吉球磨の各地で安心安全な牛乳のPR活動が行われ、一勝地駅では、SLの到着時間に合わせて牛乳の無料配布が行われました。

懐かしいふるさとに思いをはせて

第15回東京カワセミ会



故郷球磨村への思いを一つにする参加者

第15回東京カワセミ会は6月17日、東京都のクルーズクルーズ銀座で開催されました。

総会には、本村出身者や幼少期を過ごした人など会員38人が出席しました。大瀬克博会長は「設立当初から会員は少しずつ増えてきているが、会への参加者が少ないので、増やしていきたい。また、球磨村のことが全国放送のテレビで放送されるのを見て涙が出た。今後、村がさらに発展していったほしい」とあいさつしました。総会後は、懇親会や抽選会、特産品の販売が行われ、参加者はふるさとの話に花を咲かせました。

小さな親切から大きな支援の輪へ

小さな親切実行章

小さな親切実行章表彰の伝達式が6月8日、ホテル熊本テルサで行われ、人吉球磨音楽仲間の会を代表し、稲田成二さんが公益財団法人小さな親切運動本部より表彰伝達を受けました。

同団体は平成18年度から音楽活動などを通じ、全国の被災地への復興支援活動を行っています。

村内でもチャリティコンサートなどを開催し、義援金活動を行ってきた稲田さんは「これまで協力いただいた全ての人に感謝したい。これからも被災地に元気と笑顔を届けていきたい」と話しました。



村のコミュニティ・スクールコーディネーターも務める稲田さん

天空の棚田で豊作を願って

棚田オーナー田植え体験

棚田オーナー田植え体験が6月10日、日本の棚田百選「松谷棚田」で開催され、棚田オーナー17組44人のほか、1日体験者、村棚田保存会、地元少年野球チームなどから約150人の参加がありました。参加者は、25枚約25畝の棚田に4つのグループに分かれ、棚田保存会の指導で、田植え綱の目印に沿った手植えを体験しました。

棚田オーナーとして家族4人で参加した斉藤紀子さんは「初めて参加したが、原風景が広がるとても素晴らしい場所。景観維持に少しでも協力していきたい」と話しました。



一列に並び丁寧に苗を植えていく参加者

災害に強い村づくりを目指して

球磨村防災連絡会議



防災計画について説明する中渡防災管理官

梅雨期を迎え、防災連絡会議が6月5日、村、消防関係者、行政区長など約70人が出席して、球磨村コミュニティセンター清流館で開催されました。

会議では、球磨村地域防災計画に基づき、村から災害対策や要支援者に対する支援などについて説明があり、関係機関の連絡体制などを再確認しました。

参加者からは「要支援者を避難させる場合、具体的にどういう流れで行うのか」「警報が発令された場合、村の防災無線はどのタイミングで流すのか」などの質問があり、災害に備えて、認識を深めました。

いざという時大切な命を守るために

子ども救命士講習会



心臓マッサージを体験する児童

命の大切さを見つめ、命を守る力を育むための子ども救命士講習会が6月7日と8日の2日間、渡小学校で開催され、同校の児童が救急対応を学びました。

8日は、人吉下球磨消防組合中央消防署西分署の指導のもと、5・6年生が心肺蘇生法とAEDの取扱いを学びました。児童は、人形を使い、心臓マッサージや人工呼吸、AEDの使用により、応急措置を体験しました。

6年生の浦野まりんさんと森山友花さんは「心臓マッサージを30回連続で行うことや、人工呼吸の肺への空気の入れ方が難しかった」と感想を述べました。

消防団員が災害に備えた訓練を実施

消防夏期訓練

消防夏期訓練が6月3日、球磨村総合運動公園で行われ、村内6分団の消防団員約120人が参加しました。

訓練では、人吉下球磨消防組合中央消防署西分署の指導で、消防団員が通常点検などの規律訓練や心肺蘇生法、土のうの作り方などを学びました。

今回初めて行われた土のう作りでは、袋にスコップで砂を入れ作った土のうを隙間なく積み上げる訓練が行われました。

団員たちは、今回の訓練を通じて、今後起こり得る災害への対応力を身に付けました。



西分署の指導で、土のうを積み上げていく消防団員

災害時の連絡手段の確保へ

NTT西日本熊本支店と協定を締結

災害時における特設公衆電話の設置・利用に関する協定の締結式が6月5日、役場で行われ、村とNTT西日本(西日本電信電話株式会社)熊本支店が協定を締結しました。

今回の協定により、村指定の主要避難所6箇所に特設公衆電話回線が設置されます。これにより、災害発生時、電話がつながりにくい場合でも、優先的につながりやすくなり、被災者などの通信手段が速やかに確保できます。

柳詰村長は「停電時でも無料で電話がかけられ、つながりやすくなれば、家族の安否が確認でき、避難者の安心につながる」と話しました。



協定を締結したNTT西日本熊本支店の田中靖昭部長(右)と柳詰村長

お知らせ

いきいき元氣栄養教室

いきいき元氣栄養教室を開催します。

実施日 7月23日(月)

時間 午前10時～午後2時

場所 神瀬福祉センターたかおと

内容 栄養のバランスを考えた食事づくり、軽い運動

参加費 500円

持参物 エプロン・タオル・飲み物

申込締切 7月17日(火)

申込先・問い合わせ

住民福祉課福祉係

☎(32)1112

※ふれあいサロンスタッフにもお尋ねください。

油流出事故を未然に防ぎま

河川の水質汚濁事故の中で最も多いのが「油流出事故」です。

球磨川水系の水は、水道水や農業用水などに利用され、油流出事故が発生すると生活環境や生態系に重大な影響を与えます。さらに現状回復を行う費用は原因者の負担となり多額の費用を要します。そのため、油類の使用にあたっては細心の注意を払っていただき、油流出による水質事故の未然防止にご協力ください。

事故を未然に防止するためには
①給油する時は目を離さないでください。

②タンクや配管などの定期点検を行ってください。

③不要になった油を処分する際は処理業者に依頼してください。

④油の量を確認し、油の減りがいつもより多い場合は、配管からの漏れが疑われます。

事故が発生した場合には

ただちに人吉下球磨消防組合(☎(22)5241)に連絡し、指示を受けながら、土のうなどで油の拡散を防止してください。

問い合わせ

健康衛生課生活環境係

☎(32)1139

サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

サマージャンボミニ7千万円
(1等5千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

7月9日(日)2種類同時発売!

発売期間 7/9(月)～8/3(金)

公益財団法人熊本県市町村振興協会

球磨川歯科医院より臨時休診のお知らせ

次の日を臨時休診します。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願います。

休診日 7月6日(金)～7日(土)

問い合わせ

球磨川歯科医院

☎(32)1109

相談

知的障害(児)巡回相談

知的障害者(児)を対象に、総合的な相談を受け、必要に応じて医学的・心理学的判定を行い、福祉の向上を図ります。

期日 8月10日(金)

場所 球磨地域振興局

相談内容

・療育手帳の新規判定(3歳以上)

・療育手帳の再判定

・知的障害者(児)に関する総合的な相談

※予約制ですので、希望者は、7月6日(金)までに住民福祉課までご連絡ください。相談時間は、希望者決定後、連絡します。

実施機関 熊本県福祉総合相談所

問い合わせ

住民福祉課福祉係

☎(32)1112

生活衛生関係営業者の皆さんの経営相談

現在、生活衛生関係営業を営んでいる人や、今までの経験・技術を生かし、独立開業を予定している人の相談に専門相談員(中小企業診断士・営業指導員)が応じます。

期日 7月23日(月)

時間 午前10時～午後2時

場所 人吉保健所

相談内容

・経営相談

店舗の新築・改装計画、什器備品機械設備、資金繰り、売上計画など経営全般の相談

・融資相談

生活衛生融資の利用方法と手続き

・所得税、消費税、帳簿記帳申告の相談など

問い合わせ

(公財)熊本県生活衛生営業指導センター

☎096(362)3061



いっしょの健康相談

医師が相談に応じます。

日程

7月12日(木)

担当医 村上良慈 医師

場所 多良木町多目的研修センター

7月27日(金)

担当医 村田良介 医師

場所 人吉保健所

受付時間

午後2時～午後3時(要予約)

※1回につき2人まで

問い合わせ

人吉保健所保健予防課

☎(22)3107

募集

熊日金婚夫婦表彰を行います

天皇、皇后両陛下のご成婚を機に始まりました熊日金婚夫婦の表彰は、ことしで60回目を迎えます。該当される人はご連絡ください。

該当者

①昭和43年1月1日～昭和43年12月31日までに結婚され、満50年に達するご夫婦

②満50年に達するご夫婦で前回までに表彰を受けていないご夫婦

問い合わせ

住民福祉課福祉係

☎(32)1112

自衛官採用試験

自衛官の採用試験を実施します。

受験資格

・自衛官候補生、一般曹候補生

18歳以上27歳未満の人

・航空学生

航空 18歳以上21歳未満の人

海上 18歳以上23歳未満の人

・予備自衛官補

一般公募 18歳以上34歳未満

技能公募 18歳以上で、国家免許

資格などを有する人

※自衛官未経験者(1年未満も含)

受付期間

7月1日(日)～9月7日(金)

※自衛官候補生の募集は、年間を通じて行っています。予備自衛官補のみ9月14日(金)までの受付となります。

※詳しくは、次までお問い合わせください。

問い合わせ

自衛隊熊本地方協力本部人吉地域事務所

☎(22)4704



熊本県でマダニによる感染症が多発しています！



① マダニの生息場所

- ・マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。
- ・マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



③ 虫よけ剤の効果

- ・マダニに対する虫よけ剤が、平成25年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。
- ・虫よけ剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。虫よけ剤を過信せず、さまざまな防護手段と組み合わせて対策をとってください。



② マダニから身を守る服

- ・首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。
- ・ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。
- ・農作業や草刈りなどでは、ズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。
- ・シャツの袖口は、軍手や手袋の中に、シャツの裾は、ズボンの中に入れてみましょう。



④ マダニから身を守る方法

- ・上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。
- ・屋外活動後は、シャワーや入浴で、マダニがついていないかチェックしましょう。
- ・ガムテープを使って服に付いたマダニを取り除く方法も効果的です。



病院のかかり方について

感染症の症状には、個人差があり、マダニに刺されたことに気づいていなかったり、刺し口が見つからなかったりする場合も多くあります。見た目だけの診断が困難です。治療が遅れば重症化し、死亡する場合がありますので、早めに医療機関に相談しましょう。

問い合わせ 健康衛生課 ☎(32)1139

地域おこし協力隊 通信

本年 6 月から球磨村地域おこし協力隊として、大谷知広さんが着任しました。

地域おこし協力隊とは、地方に関心をもっている都市住民の人を受け入れ、一定期間以上、農林漁業などの応援や地域振興、地域住民の生活サポートなど、地域協力活動に従事することで、地域力の維持・強化を図ることを目的としたものです。ここでは、地域おこし協力隊の取り組み・活動などを紹介します。

今回は、村の移住・定住コンシェルジュとして活躍いただく大谷さんに今後の抱負などを伺いました。

よろしくお願いします！

地域おこし協力隊の募集を知ってから、球磨村を訪れた際、すごく自然を感じられるところで、子育てをするのにとても良い環境だと思い、応募しました。

球磨村は、水と空気がきれいで、自然が豊かなところです。また、村民の皆さんが心温かく、心身ともにとても癒されています。

今後はまず、村のことを良く知ることが大事だと思います。そして、さまざまな経験を通じ知った村の良いところを活かし、仕事をつくり、人を呼び、今後 100 年以上続く、日本の代表的な村にしていくお手伝いができればと思っています。

現在、球磨村について、色々勉強をしていますので、ぜひ皆さんとお会いする機会がありましたら、村民の皆さんしか知らない名所や昔遊んだ場所、村の歴史・自慢できるところなど、何でも結構ですので、教えていただくと幸いです。どうぞ、これからよろしくお願いします。



おおたに ともひろ
大谷 知広さん
年齢：37 歳
出身：東京都大田区
趣味：温泉巡り
特技：スノーボード、ウェイクボード、キックボクシング、サッカー

熱中症を予防しましょう

暑さを避ける

- 室内では…
 - ・扇風機やエアコンで温度を調整
 - ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
 - ・室温をこまめに確認
 - ・WBGT 値（※1）も参考に
 - 外出時には…
 - ・日傘や帽子の着用
 - ・日陰の利用、こまめな休憩
 - ・天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える
 - 体の蓄熱を避けるために
 - ・通気性の良い、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
 - ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす
- ※1 WBGT 値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数

こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液（※2）などを補給する

※2 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

熱中症が疑われる人を見かけたら

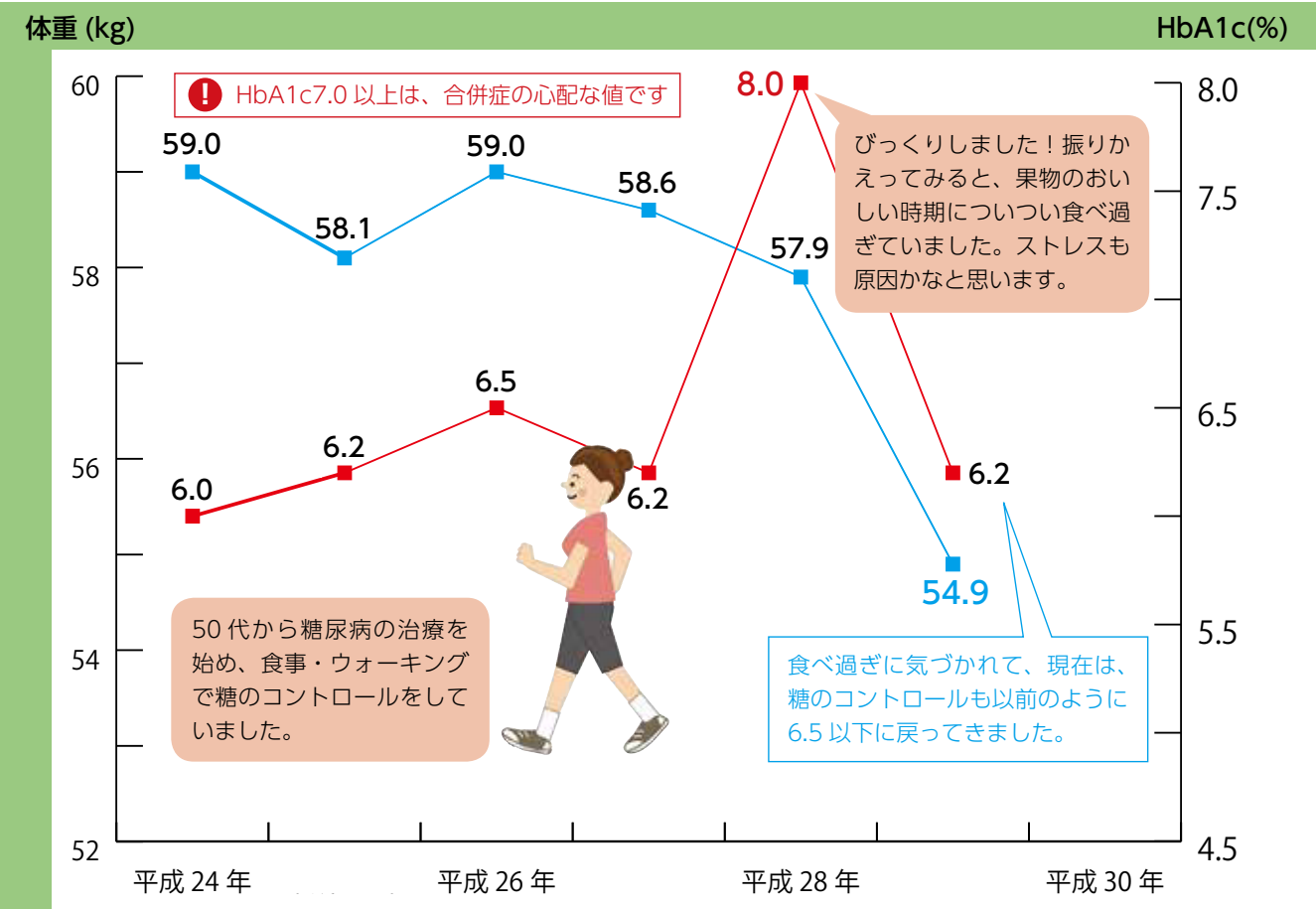
- 涼しい場所へ
エアコンが効いている室内や風通しの良い日陰など、涼しい場所へ避難させる
- 体を冷やす
衣服を緩め、体を冷やす（特に首の周り、脇の下、足の付け根など）
- 水分補給
水分・塩分、経口補水液などを補給する

問い合わせ 健康衛生課保健予防係 ☎(32) 1139

～変えられる未来もあるプロジェクト～ 健康改善に大成功された方を紹介します

生活習慣を変えれば、未来も変わる！！

【B さん（60 歳代女性・主婦）の体重と HbA1c のデータ】



— 体重 — HbA1c (1 ～ 2 カ月前の血糖値の平均)



B さん

糖の値が高くなったときは、びっくりしてね。原因がわからなかったけど、果物の食べ過ぎに気づいてからは、一日分の目安を考えながら食べています。先生からも「ご飯は腹八分目」と言われて、お茶碗の淵を見ながら少しずつ小盛りにしていったのよ。初めは、もの足りない感じもしたけど、しばらくしたら慣れたわ。ウォーキングをした後は糖のデータも良くなるので、運動の効果も感じられるわね。時間がないときは、家の近くを歩いたり、できることをしているわ。

- 果物の 1 日分の目安 (80kcal)
- りんご、なし・・・1/2 個
 - みかん・・・中 2 個
 - キウイ・・・1 個と 1/2 個
 - バナナ・・・中 1 本
- ※上記の果物のいずれか 1 つ

果物は体に良いビタミンやミネラルが多く含まれていますが、糖分も多いので、食べ過ぎると血糖値や中性脂肪を上げてしまいます。一日の適量を知り、上手に取り入れましょう！



訪問指導栄養士

今後も健康改善に大成功している人をシリーズでお伝えしていきます。お楽しみに！

問い合わせ 健康衛生課 ☎(32) 1139

「みんなで考えよう環境問題」〈こがね保育園〉

毎年6月に親子の集いを行い、親子の触れ合いや学習などを進めています。

今回は、熊本環境センター「動く環境教室」で、環境についての講話や体験活動に参加しました。

紫外線の影響で犬の目が青色に変色するなどの話を聞いたり、UVビーズを使ったストラップ製作では、太陽光でビーズの色が変わることで紫外線の脅威を知ることができました。



「みんなの住んでいるところは…」地図に目が点



ビーズ通し一緒にしよう



できたよ～ストラップ



小学生も一緒に作りしました



トコ行進曲演奏に魅せられました

【1歳6カ月児健診】

元気にすくすく育っています！



【陽だまりサロン】

<ベビーマッサージ>

講師に市岡先生を迎え、ベビーマッサージを体験しました。



アイコンタクトをとりながら…赤ちゃんもうっとり



イクメンパパもスキンシップ！おばあちゃんも！

<避難訓練>

渡保育園で行われた避難訓練に参加しました。



<ソーイング教室>

ママたちもずいぶん上達して、素敵なスタイができました。



<ママ誕生会>



●5月
鯉のぼりランチ●
オムライス・唐揚げ・スープ・果物・ゼリー

陽だまり7月行事予定

- 6日(金) ママ誕生会
- 7日(土) りんごの木サークル
- 11日(水) 陽だまりサロン
- 18日(水) 陽だまりサロン
- 19日(木) 3カ月児、6カ月児健診
- 21日(土) 渡保育園夏祭り

*都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

陽だまりサロンでは、毎回、育児講座やフリートークなど、球磨村で子育て中の親子やマタニティーの皆さんで楽しく過ごしています。上記の日程をご覧ください。お待ちしております！(初めて参加する人は電話でご連絡ください)

くまむらのおいしい

給食レシピ



ゴボウのかみごたえがアクセントになり、さきイカと昆布が良い味を出してくれます。昆布がない場合は、さきイカのみでもOKです。



球磨村学校給食共同調理場
栄養教諭 坂口裕子先生

材料(4人分)

きゅうり(1本)、ニンジン(100g)、ゴボウ(40g)、枝豆むきみ(40g)、千切り昆布(4g)、さきイカ(20g)、いりごま(6g)、砂糖(小さじ1杯と2/3杯)、酢(小さじ1杯と2/3杯)、薄口しょうゆ(小さじ2杯)、サラダ油(少々)

作り方

- ①きゅうり・ニンジン・ゴボウは、千切りにして、ゆがいて水気を絞っておく。
- ②枝豆はゆがいて、むいておく。
- ③さきイカは、食べやすい長さに切っておく。
- ④千切り昆布は、洗って水気を切っておく。
- ⑤調味料(いりごま・砂糖・酢・薄口しょうゆ・サラダ油)は混ぜておく。
- ⑥材料と調味料をあえて出来上がり。

このコーナーでは、学校給食で子どもたちが食べている給食レシピを紹介しします。皆さんもご家庭で作ってみませんか？

今月のレシピ カミカミ和え



球磨中1年1組生徒たちの感想

ゴボウがシャキシャキして、かみごたえがあっておいしい！



「若年性認知症について」

認知症は高齢者だけに発症するものではありません。働き盛りの若い世代も発症する場合があります。

65歳未満で発症する認知症を「若年性認知症」といいます。熊本県内の若年性認知症者は、600～700人と推計されます。

●原因

脳梗塞や脳出血など、脳血管性疾患が原因で発症する場合があります。最も多いです。高血圧や糖尿病など、生活習慣病が悪化すると、脳血管疾患を発症しやすくなります。

●高年齢者の認知症との違い

- ・本人や配偶者が、仕事に行けなくなる
- ・疲れ、うつ、更年期障害など
- ・と間違われやすい
- ・高齢者より認知症の進行が早い



●熊本県認知症コールセンター

認知症本人や家族への支援のため、介護経験者と専門職がさまざまな相談に応じます。

窓口

熊本市中央区上通町3・15ステラ上通ビル3階

相談受付時間

午前9時～午後6時(定休日は毎週水曜日)

問い合わせ 096(355)1755

認知症について悩みなどがありましたら、一人で抱え込まず、地域包括支援センターや民生委員、認知症コールセンターなどにご相談ください。

包括だより

地域包括支援センター(住民福祉課内)

☎(32)1112



松谷棚田の田植えに参加しました！

6月10日、松谷棚田オーナーの田植えに参加しました！
球磨村青年団は、地域貢献の一環で棚田オーナーとして、田植えに参加しています。
当日は、雨が心配されましたが、団員の日頃の行いが良かったのか、何とか持ちこたえてくれました。とても蒸し暑い中、他のオーナーさんたちと一緒に大小さまざまな形の水田に手植えしていきました。裸足で入る田んぼは、泥まみれになって大変でしたが、泥パックによる美肌効果に期待したいところです（笑）。

毎年、翌日の筋肉痛に悩まされますが、今後も美しい棚田を後世に残すためにお手伝いしていきたいと思います。



みんなで楽しく田植えができました イェーイ！



多くの皆さんの参加がありました



都市部の皆さんとも交流を深めることができました

【短歌】
万物の 加護ありてわれ 助けらる
草いきれをかぎ ありがとうと告ぐ
ことばの 威力はとても すばらしい
そだねエの一言 いちにち円満
久しぶり 今日の子供の 寄り来る日
娘はお屋 息子は夕べ
麦の秋 梅雨の晴間に 農作業
休む暇なく 麦刈り急ぐ
黄緑に 完熟梅の 香り良く
塩氷砂糖酢入れ 梅干し作る

【川柳】
炊事する 妻の背中や 宝もの
我が母校 淵は瀬となり 廃校に
球磨棚田 田植終りや 光りおる
プランタの いちごを虫と 分けてたべ
スズメ蜂 八十路の婆を さしてにげ
嫁の乱 有田の小皿 ごみの中

文芸の広場
※原稿は、毎月10日までに企画振興課へ提出してください。
【肥後狂句】
続きは明日 素面の時イ言いなっせ
やおいかん 免許返上悔まるる
梅雨の晴れ間 洗濯物んの舞い踊る
又かいた もう乗らんばい口車
尻の重さ 根の生えてどまらんかい
永田町 セクハラ罪ちゃ無かちわす
永田町 蚊帳の外では痒かろう
汗かき 化粧が流れ何方様
案の定 注意されてるふくれ面

人口・世帯の動き (6月1日現在)		
人 口	前月比	
世帯数(戸)	1,496	-1
人 口(人)	3,763	-18
男 性(人)	1,789	-8
女 性(人)	1,974	-10
高齢化率(%)		43.3

氏名	年齢	地区
舟戸 克子	80歳	舟戸
大原 順章	95歳	峯
西 コズエ	95歳	水篠
境目 國義	87歳	境目
前坂 ユキ子	84歳	簗瀬
日隠 武光	87歳	中屋

戸籍の窓

5月届け出分(敬称略)

▼お悔やみ申し上げます

寄せられた寄付
ご遺族の皆さまに心より哀悼の意を表し、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

（5月分）
大岩 一郎 様（故 宇太郎 様）
清川 保和 様（故 タツ子 様）
舟戸 政喜 様（故 克子 様）
西 善政 様（故 コズエ 様）
尾方 浩美 様（故 崇 様）
大原 チカエ 様（故 順章 様）

皆さまのご厚意に深く感謝申し上げますとともに、地域福祉の推進のため大切に使用させていただきます。

社協だより

第20回球磨村老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会

第20回球磨村老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会が6月13日、球磨村総合運動公園さくらドームで開催され、村内の単位老人クラブから15チーム（90人）の会員が参加しました。
皆さん、他の老人クラブ会員との親睦を深めながら楽しくプレーをされました。

【大会結果】

優勝 みどり会B
準優勝 みどり会A
3位 鏡山長寿会A

こがね保育園せせらぎ訪問

こがね保育園園児の皆さんが6月7日、せせらぎデイサービスを訪問しました。
園児の皆さんは、歌やダンス、組体操の披露や、肩たたき、ボール遊びなどを通して、利用者と楽しく交流しました。



ダンスや組体操を披露



利用者との楽しい交流



力強く選手宣誓！



優勝と準優勝を飾ったみどり会

総合相談窓口

日々の生活の中での不安や困りごとを社会福祉協議会にお聞かせください。一人一人の状況に合わせた支援内容を考え、専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。

例えば…

- ・就職したいが、仕事が見つからない
- ・すぐに仕事を始めることが不安
- ・家賃を滞納し、家を出なければならない
- ・会社を解雇され、家も失った
- ・借金や公共料金の滞納があり困っている
- ・家計のやりくりがうまくできず、生活費が足りない
- ・子どもの学校や勉強のことが心配
- ・家に引きこもっている家族がいる

平成30年度球磨村ボランティア連絡協議会総会

平成30年度球磨村ボランティア連絡協議会総会が6月14日、石の交流館やまなみで開催され、会員49人が参加しました。

本年度は役員改選があり、新役員が承認されました。

また、総会後の講演会では、あさぎり町の上杉芳野さんを講師に「喜んでくださることが、私の喜び」という題で講演をしていただきました。



講師の上杉さん

新役員
会長 大瀬 幸信
副会長 山口 森義
理事 糸原 久美子
理事 大無 とし子
理事 林 エミ子
理事 藤 正勝
理事 上原 正博
理事 友尻 陽子
理事 吉田 智子
監事 小川 公子



多くの参加をいただきました

7月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1 郡民体育祭（ソフトテニス・軟式野球・ソフトボール・バドミントン団体戦・バスケットボール・サッカー・剣道・銃剣道・ボウリング） （人吉球磨一帯）	2	3	4	5	6	7
8 郡民体育祭（バドミントン個人戦） （高山運動公園体育館） 郡民体育祭（卓球） （錦中学校）	9	10 区長文書	11	12	13	14
15 郡民体育祭（水泳） （湯前町B&G海洋センター）	16 海の日	17	18	19 3カ月児、6カ月児健診 午後1時～（渡多）	20	21
22	23 いきいき元気栄養教室 午前10時～（たかおと）	24	25 区長文書 （広報くまむら発行）	26	27	28
29	30	31				

清流館……球磨村コミュニティセンター清流館	やまなみ……石の交流館やまなみ	こがね…こがね保育園
渡多……渡多目的集会施設	かわせみ……一勝地温泉かわせみ	神保……神瀬保育園
神多……神瀬多目的集会施設	運公……球磨村総合運動公園	渡小……渡小学校
せせらぎ…高齢者生活福祉センターせせらぎ	さんがうら…田舎の体験交流館さんがうら	一小……一勝地小学校
たかおと…神瀬福祉センターたかおと	渡保……渡保育園	球中……球磨中学校

くまむらの隠れスポットを探そう！

？ここはどこでしょう？



ここが見どころ！
ハート型をした石。この石を踏んだ人には、幸せが訪れるかも…

ヒント 球泉洞の探検コース内のどこかに隠れています

●このコーナーでは、村の隠れたスポットを紹介します。皆さんの地域にある、まだまだあまり知られていない穴場スポットの情報もお待ちしています！
企画振興課 ☎(32)1114

編集後記

5月～7月にかけて、人吉球磨一帯で、球磨郡民体育祭が開催されています。7月は、特に多くの競技が開催される予定です。5月28日に九州北部地方が梅雨入りし、雨が降る日が続いています。が、競技に出場する皆さんが気持ち良くプレーできるように大会当日は、雨が降らないことを願うばかりです。

私は、陸上競技に出場しました。走り幅跳びとリレーに出場したのですが、気持ちばかりが先回りし、体が全然ついていきませんでした（汗）練習不足の成果を十二分に発揮した大会となりました。来年こそは、しっかりと練習を積み、大会に臨みたいと思います！

球磨村公民館図書室では、1回につき1人2冊まで、2週間のレンタルができますのでぜひご利用ください。

受付日 月曜～金曜（祝日を除く） 受付時間 午前8時30分～午後5時

おすすめ



大人のための「いのちの授業」
鈴木中人／著

小学1年生の娘を小児がんで亡くした経験から各地で「いのちの授業」を開いている著者。娘との最期の日々や、いのちの授業で出会った人たちへの想いが綴られています。「生きる」「死ぬ」「家族」「働く」「幸せ」「運命」って何だろうか…本当に大切なことに気づかされる、いのちの実話が連載されている一冊。



お父さんクエスト
小山 健／著

人気漫画家、小山健さんの話題のリアルドキュメントが待望の書籍化。妻の妊娠、出産、育児にいたる過程を追いながらギャグなどを交えたワンポイントアドバイスや、知っておいた方が良い心構えなど、お父さん目線であらえてある育児漫画です。

7月の乳幼児健診・年金相談会・休日在宅当番医

乳幼児健診 問い合わせ 健康衛生課保健予防係 ☎(32)1139

●3カ月児、6カ月児健診			
健 診	対象者	日 程	場 所
3カ月児	平成30年2月18日～平成30年4月19日生まれ	19日(木)	渡多目的集会施設
6カ月児	平成29年10月1日～平成29年11月30日生まれ		

受付時間 午後1時～午後1時15分 内容 小児科健診、身体計測、子育て・栄養相談

持参物 母子健康手帳、問診票、子どもノート、バスタオル、お出かけセット（ミルクやオムツ、着替えなど）

年金相談会 問い合わせ 八代年金事務所 ☎0965(35)6123／住民福祉課住民係 ☎(32)1112

八代年金事務所による年金相談会が次のとおり開設されます。お気軽にご相談ください。

場 所	日 程
人吉市東西コミュニティセンター	2日(月)、9日(月)、23日(月)、30日(月)
錦町社会福祉協議会（温泉センター）	11日(水)、25日(水)
多良木町役場（町民相談室）	4日(水)、18日(水)

予約受付時間 午前9時～午後5時

※3日前までに予約が必要です。年金手帳を準備の上、八代年金事務所までご連絡ください。なお、予約は先着順となりますので、相談者が多い場合はご希望に添えない場合もあります。

休日在宅当番医 ※都合により変更になる場合がありますので、受診する人は事前に医療機関にご確認ください。

1日(日)	犬童耳鼻咽喉科（多良木町）	☎(43)0777	16日(月)	古城クリニック（水上村）	☎(44)0321
	脳神経外科小林クリニック（錦町）	☎(38)5670		岩井クリニック（あさぎり町）	☎(49)2181
	たかはし小児科内科医院（人吉市）	☎(24)2222		人吉医療センター小児科（人吉市）	☎(22)2191
8日(日)	こんどう整形外科（あさぎり町）	☎(45)6555	22日(日)	宮原医院（多良木町）	☎(42)2082
	緒方医院（相良村）	☎(35)0131		権頭医院（相良村）	☎(36)0008
	堤病院附属九日町診療所小児科（人吉市）	☎(22)2251		公立多良木病院小児科（多良木町）	☎(42)2560
15日(日)	そのだ医院（湯前町）	☎(43)2063	29日(日)	渡辺医院（多良木町）	☎(42)2541
	たかの眼科（あさぎり町）	☎(47)2550		高田内科医院（錦町）	☎(38)3677
	やまむら医院（あさぎり町）	☎(45)0005		増田クリニック小児科（人吉市）	☎(22)3570

第1回

2018くまむら健康づくり

標語コンテスト作品募集



健康づくりをテーマとした標語の募集を行います。



テーマ

健康づくりや健診

に関するもの

受賞した作品は、ホームページや封筒などへ掲載し、健康づくりの普及啓発に活用します。

糖と脂肪
美味しいものには
ワナがある

目が覚めて
今日も生きてる
ありがとう



応募期限

平成30年8月31日(金)
までにご応募ください。

【応募資格】

球磨村民

【応募要件】

個人作品で未発表のものに限ります。応募は一人1点とします。応募作品は返却しません。採用された作品の著作権その他の一切の権利は、球磨村に帰属します。

【応募方法】

- ・小中学生の部は、所定の様式により募集します。応募様式に、標語、学校名、学年、氏名を記入してください。
- ・一般の部は、所定の様式または、ハガキ、FAX、メール等により募集します。氏名、年齢、住所、連絡先を記入しご応募ください。

【結果発表】

小・中学生の部は、所属する学校及び個人あてに通知します。一般の部は、入賞者のみに選考結果を通知します。この他、広報誌及びホームページにて発表します。

【表彰】

- 小・中学生の部（各学年ごと）
- 優秀賞 1点（賞状・副賞）
 - 入選 2点（賞状・副賞）

一般の部

- 優秀賞 3点（賞状・副賞）
- 入選 5点（賞状・副賞）

※応募者全員に参加賞をご用意します。